



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第36号・2012年 3月発行

北加日本語教師会 2012年の春の例会

Sunday, April 29, 2012
San Francisco State University

会長挨拶



会長挨拶 グラント文子

桜にちなんだ催しがちらほらと聞こえ、桜が気になる季節を迎えました。北加日本語教師会の会員の皆様にはお忙しく過ごしていらっしゃるものと存じます。先だって、日本語の授業で教科書の会話に春にちなんだ「勇太にも春が来たのかしら」と言う一文があって、学生にひとしきりその意味合いについて説明しました。日本に育った私には 冬が終わりを告げ、春に訪れるその暖かさや花の開花には何とも言えない心の安らぎが感じられます。けれども、四季もはっきりあるわけではなく、次々に咲く色々な花も大半が「花」でかたづいてしまうカリフォルニアでは、我々が抱く「春」が醸し出す感覚を理解するのは確かに難しいことでしょう。日常の会話表現を教えることも大切だが、文化が生み出す言語表現の指導も大切にしていかななくてはと改めて認識した次第です。

日本も大震災から一年が過ぎ、一時期日本行きを控えていた日本語学習者がまた日本に旅立ち始めたのは喜ばしいことだと思います。その一方でこの厳しい緊縮財政と中国の経済成長で、学校での日本語クラスが減少の傾向にあるのは非常に懸念される場所です。そんな中、この二月に領事館やサンフランシスコ市教育委員会等主催の「日本語教育シンポジウム」があり、今後の日本語教育のあり方についてあらゆる角度からの活発な討論が行われました。特にこの状況下、父兄や学習者を含めて日本語教育に携わる者が一丸となってやっけて行こうとしている姿勢に勇気づけられもしました。

北加日本語教師会もその一組織として活発に内外に活動して行くことが望まれます。この度南先生のご尽力で新たに全米日本語教師会にも加盟することになりました。日本でも「コラボ」という言葉をよく耳にするようになりましたが、教師同士の交流や、組織間のつながりを深めるためにも、まず皆様に会員になっていただくことで「コラボレーション」が始まると思います。下記に春の例会のご案内を申し上げますが、役員一同 会員の皆様にご満足頂けるプログラムになるよう努力を重ねております。これからも北加日本語教師会に「春」が訪れ続けるよう、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



北加日本語教師会春の例会
NCJTA Spring Conference

『日本語教育とテクノロジー』

NCJTA Spring Conference

4月29日(日)@サンフランシスコ州立大学

4月29日開催の例会は、テクノロジーを使った教授法をテーマに、「テクノロジーを駆使して教えるランゲージ」(ジョージワシントン高校の森川先生)をはじめ、他4名の先生の発表を予定しています。また、サンフランシスコで評判の和食弁当をいただきながら、教師のネットワークを広げる懇談の時間をご用意しました。今回、初めての試みとして、会員が非会員一名を同伴出来ます。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。なお、今回はお弁当用意の都合上、参加申し込みが必要となります。会員のお弁当は無料、非会員の方のお弁当は実費10ドルをお支払いいただくこととなります。

- 日時：4月29日(日曜日) 午前10時より午後2時まで
- 場所：サンフランシスコ州立大学 (HUM 108 & 109)
- テーマ：日本語教育とテクノロジー (パワーポイントを中心に)
- 申し込み：お弁当用意の都合上、添付申し込み用紙にご希望のお弁当を明記の上、参加申し込みをお願いします。同伴なさる非会員の方のお弁当も会員の方が併せてお申し込みください。
- 申し込み締め切り：4月20日(金曜日)
- 申し込み用紙：本ニュースレター添付の用紙をご使用ください。
- プログラム

10:00～	NCJTAからの事務報告/領事館からのお知らせ
10:20～11:00	パワーポイントを使ったレッスンの紹介 「テクノロジーを駆使して教えるランゲージ」(森川知計先生)
11:00～12:00	二つの発表(パワーポイントを使ったアクティビティ)
12:00～12:45	親睦ランチ(特製和食弁当 会員は無料/非会員は実費)
12:45～13:45	二つの発表(パワーポイント、iPadを使ったアクティビティ)
13:45～14:00	情報交換の時間

2012年 春の役員会報告

日時：2012年1月22日、日曜日、午後12時より3時半まで

場所：4406 Dwinelle Hall, UC Berkeley

出席者13名：高橋(総領事館)、加藤(総領事館)、グラント、高松、猪俣、須田、森岡、オブライアン、森川、真木、神原、南(役員名簿順)、伊藤(記)

1. NCTJAの新しいウェブサイト(ncjta.net)について
現在立ち上げ中だが、あと一か月で完成する予定。

2. 春の例会(詳細は、上記『春の例会』案内参照)

3. 春のニュースレターについて

4. Affiliateについて

NCJTAが全米日本語教育学会(American Association of Teachers of Japanese)のaffiliateになることが採択され、可決された。

5. 会計報告

昨年の秋から会員が 16 名増えた。

6. 今後の会員増員について

年会費を払っていない人にメールで連絡したり、個人的に連絡してみる。

7. 総領事館からのお知らせ

- 1) 小学生のスピーチコンテストを 3 月 4 日（日）に San Francisco State University にて開催。
- 2) 日本語教育シンポジウムを 2 月 18 日（土）に Asian Art Museum にて開催。
- 3) JET memorial Invitation Program の申込締切は 4 月 13 日（金）。
- 4) The Japan Exchange and Teaching Program Alumni Association of Northern California (JETAANC) Scholarship の申込締切は 4 月 30 日（月）。
- 5) 日本語教育の survey をメールでする予定なので、協力してほしい。（文責：伊藤）

NCJTA 秋の例会報告



2011 年 NCJTA 秋の例会報告

北加日本語教師会秋の例会 Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA) Fall meeting は 2011 年 11 月 5 日（土）午後 3 時から 3 時 45 分まで Berkeley City College で行われた。まず、新会員、旧役員の紹介と総領事館の加藤氏より弁論大会、JET プログラムについてのお知らせがあった。そして、参加者全員の自己紹介の後、事前に各教育レベルの役員代表が各自の学校で行ったアンケート調査を基に、学生の興味と教科書に出てくるトピック／内容の違いのギャップをどうやって埋めていくか、活発な話し合いが行われた。以下は各教育レベルの役員代表がまとめた報告である。

1) 小学校

「食べ物」、「伝統文化」、「日本の行事」、「運動会」、「学芸会」などのトピックが生徒に人気があった。教科書はないが、カリキュラムをそれぞれのレベルで作って教えている。週一回ワープロを使わせてタイプの実習もさせている。日本語のクラスでやってほしいこととして、グループアクティビティやコンピューター、フィールドトリップが人気があった。小学校レベルでは、毎日の生活の中で、体で覚えさせるようにしている。

2) 中学校、高校

一番人気があるトピックは「食べ物」で、次に「日常生活と社会」、「テクノロジー」が続いた。「宗教」や「文学」には興味がない学生が多かった。教科書を reference として使っている学校では生徒はあまり満足していなかった。また、「げんき」という教科書を使っているある学校では「情報が古い」「つまらない」などのコメントがあった。テクノロジーは既にパワーポイントやビデオを十分に使っているので満足していると答えた生徒が多かった。

3) コミュニティカレッジ

興味があるトピックとして「その他」を選んだ学生が多く、コミュニティカレッジの学生の多様性が反映されていた。「ポップカルチャー」は上位に入っておらず、三学期目の学生は「ポップカルチャー」より「言語」の方に興味を持っていた。コミュニティカレッジで作られた「がんばろう」という教科書を使っているが、文化ノートもあり、大部分が満足していた。もっとテクノロジーを使った方がいいかという質問には 3 人に 1 人が No と答え、教え方に関する学生の好みに影響していた。

4) 大学

ほとんどの学生が教科書に満足していた。興味があるトピックとして、「ポップカルチャー」「食べ物」「日常生活」がトップ 3 を占めた。歴史、現代のこと、民話に興味があるなどのコメントもあった。テクノロジーはビデオは見たいが、パワーポイントで十分と答えた学生が多かった。中には「オンラインでの練習をしてほしい」や「handout がほしい」「interaction がほしい」という要望もあった。日本語のクラスでやってほしいこととして、フィールドトリップに興味があると答えた学生が多かった。

お知らせ



5) 学園

「食べ物」が一番人気があり、実際、学園ではおにぎりセールや買い物の練習などを行っている。低学年では「テクノロジー」が一番人気があり、ゲームなどの影響ではないかと考えられる。教科書は「Japanese for Young People」「げんき」「ひろこさんのたのしいほんご」などが使われている。テクノロジーは現在のところDVDとテープレコーダーだけ使っているが、教科書中心の授業だから、これからもっとテクノロジーを取り入れた方がいいと考えられる。また、学園の生徒は日系人が多いので、「伝統文化」も重んじられる。(文責：伊藤)

お知らせ

AATJ加盟

今年度より、北加日本語教師会(NCJTA)は、全米日本語教師会(American Association of Teachers of Japanese: AATJ)に加盟することになりました。加盟にあたり、現在分かっている年会費変更点をお知らせいたします。NCJTAの年会費更新は、AATJの年会費更新期日に従って、1月1日から12月31日までとなります。

- AATJ会員の方：AATJに来年度の年会費をお支払いになる際にregional affiliate organizationの欄のNCJTAにチェックしてください。そうしていただくことで、NCJTAに年会費をお支払いいただく必要はありません。[注：今年度のNCJTA年会費取り扱いに関しては、後日、お知らせいたします。]
- AATJ非会員の方：従来どおりNCJTAに年会費をお支払いください。ただし翌年度分は12月31日もしくはそれ以前にお支払いください。(文責：南)

As you may already know, two national-level organizations – the Association of Teachers of Japanese (ATJ) and the National Council of Japanese Language Teachers (NCJLT) – have consolidated into the American Association of Teachers of Japanese (AATJ: 全米日本語教師会). The Northern California Japanese Teachers Association (NCJTA) is now affiliated with AATJ. Due to this change, we need to inform you of the following changes:

NCJTA's membership renewal, in accordance with the AATJ membership, will begin January 1 through December 31.

- If you are an AATJ member, please pay your membership to AATJ. When paying your AATJ membership, please check NCJTA as your regional organization (there is a list of AATJ affiliate organizations). You do not need to send your membership to NCJTA.
- If you are not an AATJ member, there are no changes. Please pay your membership dues to NCJTA as you did in the past (but before January 1, starting next year).

For more information, please visit the following web sites.

<http://www.aatj.org/atj/membership.html>
<http://www.aatj.org/affiliates/index.html>

Masahiko Minami

NCJTA 新ウェブサイト

[ncjta.net](http://www.ncjta.net)

3月29日、NCJTAウェブサイトが移動します。<http://www.ncjta.net>で、本ニュースレター(36号)もご覧になれます。新ウェブサイトに関する皆様のご意見ご希望をお待ちしています。

高松：nobukot@sbcglobal.net

オブライアン：masakoshimizu@sbcglobal.net

須田：sudak@usfca.edu

会計からのお知らせ

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2012 年度分の会費（2012 年 4 月から有効）を年会費納入用紙といっしょに送ってくださるか、春の例会でお支払いいただければと思います。昨年までの会費を払っていらっしゃらない方も今年のみ会費で結構です。皆様のご協力をお願いいたします。

春の例会では、事前にお申し込みいただいた会員の方に、お弁当を無料でお配りいたします。非会員の方は、10 ドルでお申込みいただけます。本ニューズレター添付の申込用紙を猪俣まで、ご送付ください。申込締切日は 4 月 20 日です。

NCJTA は 2007 年に非営利団体(non profit organization)になりました。それで、寄付を受けることができるようになりました。現在 Japan Society of Northern California、IACE Travel、大阪大学から NCJTA のウェブサイトの広告一つ分 100 ドルの寄付をいただいています。（文責：猪俣）

UCバークレー大学でレクチャー

Berkeley Language Center
Spring 2012 Lecture Series

April 6 B4 Dwinelle Friday 3-5pm	Professor Emeritus H. Douglas Brown English Department San Francisco State University <i>Teaching as a Subversive Activity - Revisited</i>
April 27 B4 Dwinelle Friday 3-5pm	BLC Fellows Forum Daniel Aaron Brooks – Slavic Languages & Literatures Jonathan Haddad – French Department Jennifer Johnson – Graduate School of Education <i>Instructional Development Research Projects</i>

The BLC Lecture Series is sponsored by the College of Letters and Science
Berkeley Language Center * B-40 Dwinelle Hall #2640 * <http://blc.berkeley.edu>
(510) 877-4002

サンフランシスコ桜祭り 書道展と体験ワークショップ

4 月 21 日、22 日 サンフランシスコ日本町 JCCCN 第二教室

日本の伝統、書道の楽しさと美しさを体験できます。水習字で習字体験、師範によるデモンストレーションや書き方の指導、小石、貝殻、うちわ、扇子、色紙を使った習字など、あらゆる年代の皆さんに楽しんでいただける体験ワークショップです。

問い合わせ: 主宰バイエリア書友会 唐橋秋栄 akinokara@yahoo.coまで

在サンフランシスコ日本国総領事館インフォメーションセンターから

領事館インフォメーションセンターから

JETAANC 2012 Scholarship

The application period for the 2012 JETAANC Scholarship is now open. We encourage high school seniors in Northern California and Nevada with an interest in Japanese culture and language to apply for the \$1000 award. Further details on the application process and selection criteria can be found within the scholarship documents. Applications must be postmarked by April 30, 2012.

For more information and scholarship application please go to: <http://www.jetaanc.org/scholarship/>



JET Program Class Presentation

The Japanese government's Japan Exchange and Teaching (JET) Program, now in its 25th year, is aimed at promoting grass-roots international exchange between Japan and other nations. Each year the JET Program recruits thousands of new participants to come to Japan and experience a new and unique way of life. Participants are assigned to be either Assistant Language Teachers (ALTs) who provide language instruction in elementary, junior, and senior high schools or Coordinators for International Relations (CIRs) who work in communities on international exchange activities.

If you would like a representative from the JET Program to come to your school to give a presentation for your students please contact the JET Program Coordinator, Peter Weber, at jet@cgjsf.org. This is a great opportunity for young high school or college students to learn more about future opportunities to work and live in Japan.

For more information about the JET Program and application requirements please visit the following websites at <http://www.jetprogramme.org> (international site) and <http://www.us.emb-japan.go.jp/JET/> (U.S. site).

第40回小学生日本語お話大会の開催

3月4日(金)、当館及び北加日米会共催による「第40回小学生日本語お話大会」を、サンフランシスコ州立大学にて開催しました。今年は、38名の小学生が参加し、日頃の学習の成果を披露しました。学校やご家族をはじめ、約160名の方々が応援に来られ、大変盛会な大会となりました。コンテスト終了後、審査委員長の原田当館首席領事からは大変レベルが高く、接戦であったとの講評がありました。本大会に出場するために練習に練習を重ねた出場者の皆さんの健闘を讃えます。また、出場者や審査員、ご協力いただきました関係者の方々に心より御礼申し上げます。

日本語教育シンポジウム

2月18日(土)、当館、サンフランシスコ市教育委員会及びアジア美術館は、当地に於ける日本語教育の維持・拡充及び日本語教育に対する理解の増進を目的とした「日本語教育シンポジウム」をアジア美術館にて開催しました。

本シンポジウムでは、全米外国語教育評議会(American Council on the Teaching of Foreign Languages)より、優秀な外国語教師に与えられる「2012 National Language Teacher of the Year」を日本語教師として初めて受賞した安座間(あざま)喜治氏を基調演説者として招き、21世紀というグローバル社会に於いて、日本語や日本文化を学習する利点等について講演いただきました。続くパネル・ディスカッションには、ビル・サンダーソン氏(サンフランシスコ教育委員会)、エリカ・ロブリン氏(ジョージ・ワシントン高校)、ミドリ・マキオン教授(サンフランシスコ州立大学)、安座間喜治氏(ノース・サリナス高校)がパネリストとして参加し、サンフランシスコ市教育委員会の外国語教育に対する取り組みと日本語の現状、日本語学習の重要性、日本語学習に対するインセンティブ等について議論しました。



(写真: Japan Information Center)

本シンポジウムには、日本語教師、学校校長、保護者、教育関係者、コミュニティ関係者など、約140名の参加者が出席し、活発な質疑応答、意見交換が行われ、当地に於ける日本語教育の維持・拡充に向け、関係者のネットワーク強化と連携が重要であるとの認識が共有されました。

『言葉の窓』



母語話者の日本語、非母語話者の日本語

長谷川葉子

カリフォルニア大学バークレー校

バークレー日本語プログラムでは、新しい講師の先生を選考する際、審査の一環として、ファイナリストに非文または不自然な日本語の解説をしていただいています。今回の公募でも当プログラムの先生方に問題文を考えてもらったのですが、あまりの語感の差に愕然としました。例えば、A先生がおかしいとした文は以下のものでした。

午後雨が降るのに、今日の試合は続行されるそうだ
おすしが大好きなのに、今日は食べる気にならない
もし、ロボットを作るとしたら、そうじやせんたくをしてもらう
明日はサンフランシスコを中心として大雨が降るそうだ

私には、これらはみな自然な日本語に聞こえました。また、B先生は、以下の会話を指摘しました。

X: やあ、久しぶり。元気そうだねえ。
Y: そう? 毎日ジョギングしているおかげで、最近調子いいんだよ。

確かに、自分の意志でジョギングしているわけですから、「おかげ」と言うのは理不尽なはずなのですが、これも容認できると思いました。「毎日のジョギングのおかげで」と、動詞を抜いた方が自然な気はしましたが、「頻繁に病院に行っているおかげで、最近調子いいんだよ」はどうでしょうか。文法的には、そうは言うてはいないのですが、「おかげ」は病院の先生に向けられているとは考えられないでしょうか。言語表現は、現象表現から話者の気持ち（モダリティー）の表現にそのスコープを広げる傾向があるというのは、様々な言語で多く指摘されています。例えば、frankly は、本来は、**She explained the situation frankly**（彼女は率直に状況を説明した）のように使われる副詞でしたが、それがスコープを広げて、**Frankly, she won't explain it straightforwardly**（率直に言って、彼女が正直に話すとは思えない）のように、発話全体に言及するようになるといった例は枚挙にいとまがありません。

C先生は、「味噌汁の味は家族によってそれぞれ違う」がおかしいと指摘しました。確かに、この場合、「家庭」の方が自然ですが、「家族」はそんなにおかしいのでしょうか。「家族の味」をグーグルで検索してみると、一億以上のヒットがありました。もっとも、最近では、非母語話者によって書かれた日本語サイトも多いので、額面通りに受け取ることはできませんが、かなり多くの日本語母語話者が「家族の味」を使っているのは事実です。それにも拘らず、これをおかしい表現とするべきでしょうか。

D先生は、「試験を取る」は困ると言っていました。私も試験は「受けて」ほしいのですが、これさえ、何とかなくなってしまいそうです。バークレー言語学部のカール・ジンマー教授の名言に、**Longer sentences are more grammatical** というのがあります。これは、「文が長くなると、容認できる状況が考えやすくなるから」と「長くなると、注意が分散されるから」という二つの解釈があるのですが、いずれにしても、問題のある文を長くすると容認度が上がることはよくあります。「先月会ったんだけど、公認会計士の試験を取ったとか、もうすぐ取るとか言ってた」はだめでしょうか。でも、「試験を取る」は、確かにかなり苦しい。

国際英語という概念があります。基本的な英文法に適っていれば、微妙な慣用語法に添った（イデオマティックな）英語でなくてもいいではないかという考え方です。私はこう考えざるをえない環境で仕事をしています。私の英語は通用しますし、私の書く英語文のほとんどは、かなりペダンティックな人からも非文とは言われなないでしょう。でも、私は、英語母語話者ではありませんから、

母語話者が「何となく、どことなく変だ」と思う表現を多用しているに違いありません。そういう英語は拒否されるべきものなのでしょうか。

私は、非母語話者の日本語があつてしかるべきだと思います。母語話者がなぜおかしいのか説明できなければ、その日本語は非文ではないのだと思います。先生方はどうお考えになりますか。

先生の紹介欄



先生の紹介欄

真木実奈子先生

1) お名前を教えてください。

真木実奈子 (まき みなこ)

2) 教えている学校名、町を教えてください。

サンマテオにある非営利団体サンマテオ日本学園、土曜日の午前中に日本語と日本文化を5~18歳児に教える学園です。

3) 日本語教師はいつから？

園長職8年

4) ご趣味は？

ゴルフと言いたいところですが、最近は全く練習もしていないし、コースにも出ていないので、ボールが飛ばないかもしれません。あとは、時間があるときいろいろな国の料理のレシピを見ながら作ることです。

5) 日本の出身地は？

東京都の北区です。

6) アメリカに来て何年ですか。

25年です。

7) 仕事について、何か一言お願いします。

家族や周りの方々のお陰で8年間も勤めることができています。フルタイムの仕事に加え、土曜日にも学園の仕事なので大変ですが、たくさんの子供達に日本語と日本文化を学んで欲しいと思います。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

去年の秋からメンバーになりました。いろいろな学校の先生方と情報を交換し、これからの日本語教育に少しでも役に立つことができたと思います。どうぞよろしく願いいたします。

オブライアン真佐子先生

1) お名前を教えてください。

オブライアン真佐子、学校では、ニックネームの「ちゃこ先生」と呼ばれています。

2) 教えている学校名、町を教えてください。

ヒルズボローにあるヌエバスクール (PKから8年)。ヌエバは多重知能理論やSEL(社会性情緒教育)に基づくギフトド(才能開発)教育を行い、「Learn by doing」がモットーです。

3) 日本語教師はいつから？

2006年から日本語を教えています。2009年に専任になり新しい「日本語大好き」プログラムを立ち上げました。

4) ご趣味は？

というわけで、このところ趣味は「仕事」です。

5) 日本の出身地は？

東京です。

6) アメリカに来て何年ですか。

サンフランシスコに移り住んで 15 年になります。

7) 仕事について、何か一言お願いします。

日本語を初めて学ぶ六年生と「日本語大好き」を目指し、毎日楽しんでいます。季節の行事や食べ物の紹介をはじめ、ジョン万次郎を切り口に日米関係史も学びます。子どもたちが、美しく正しい日本語の基礎と異文化理解やコミュニケーションの方法を体得することが、私の目標です。一人で多く「親日家」が育つことを夢見て、励んでいます。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

各校の先生方から学ぶ機会が与えられ感謝しています。当地の日本語教育の維持発展のためにお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

編集後記

今回から新しいメンバーによるニュースレター編集です。今回の 36 号は「オンライン」を意識してニュースレターを作成致しました。従来通り情報豊かで役に立ち、なおかつ読みやすいニュースレターの作成を心がけましたが、会員への発送はメールであることを考えればオンラインでも読みやすいようにレイアウトをかなり変えました。改善すべき点が多々あると思います。諸先生方、ご意見、ご批判、ご提案がありましたら、是非下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

須田：sudak@usfca.ecu

オブライアン：masakoshimizu@sbcglobal.net

北加日本語 教師会連絡先



NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Fumiko Grant

City College of San Francisco, A58

50 Phelan Avenue San Francisco, Ca 94112

(415) 452-5106

E-mail: fgrant@ccsf.edu

<役員>

会長：Fumiko Grant グラント文子 (同上)

副会長：Nobuko Takamatsu 高松信子

City College of San Francisco/San Francisco State University

E-mail: nobukot@sbcglobal.net

書記：Junko Ito 伊藤潤子

University of California, Davis

E-mail: jito@ucdavis.edu

会計：Kimiyo Inomata 猪俣公克

City College of San Francisco

E-mail: kinomata@ccsf.edu

ニュースレター編集 : Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

フランク連絡員: Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

<各レベル代表>

小学校代表 : Takeko Morioka 森岡妙子
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: taeko3568@aol.com

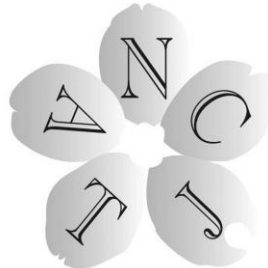
中学校代表 : Masako O'Bryan オブライアン真佐子
Nueva School
E-mail: masakoshimizu@sbcglobal.net

高校代表 : Tomokazu Morikawa 森川知計
George Washington High School
E-mail: tomokazu28@gmail.com

学園代表 : Minakao Maki 真木 実奈子
San Mateo Nippon Gakuyen
E-mail: minakomaki@hotmail.com

コミュニティーカレッジ代表 : 空席

大学代表 : Wakae Kambara 神原若枝
University of California, Berkeley
E-mail: wkambara@berkeley.edu



Northern California Japanese Teachers' Association



北加日本語教師会

<http://www.ncjta.net>

会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々には、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。

2012年度分の会費は2012年4月から有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5 Check payable to: NCJTA

Mail to: Kimiyoshi Inomata, City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A48,
San Francisco, CA 94112

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Kimiyoshi Inomata, City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A48,
San Francisco, CA 94112

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

 北加日本語教師会

春の例会
お弁当申し込み用紙

DEADLINE: **April 20**, 2012

Please complete the form and check (non member) and mail to:

Kimiyoshi Inomata
City College of San Francisco
50 Phelan Avenue A48
San Francisco, CA 94112

<NCJTA member>

Name: _____

Email address: _____

School Position: _____

School: _____

Circle VEGETARIAN or NON-VEGETARIAN (Tonkatsu)

< Non-member >

Name: _____

Email address: _____

School Position: _____

School: _____

Circle VEGETARIAN or NON-VEGETARIAN (Tonkatsu)

Box Lunch -----\$10.00

Check # _____

*Please make your check payable to: NCJTA